



イマジン  
ロータリー

# Weekly Report

クラブ会長テーマ

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ

親睦と奉仕！みんなの力で

## 第 2545 回例会報告

月 日：令和 5 年 5 月 10 日（水）

会 場：例会場

司 会：S A A

開会点鐘

国歌斉唱

ロータリーソング：日も風も星も

四つのテスト

お客様の紹介

会長挨拶

5 月に入り陽気も良くなり半袖姿が目立つような季節になりました。クールビズも始まり軽装での例会出席はかまいません。

幹事報告

北島正典幹事

●23-24 第 1 回ロータリー財団セミナー

日時 6 月 8 日（木）14 時

場所 オンライン

出席対象者 会長・幹事・ロータリー財団委員長

●23-24 地区大会実行委員会キックオフミーティング

日時 6 月 8 日（木）18 時

場所 新橋

出席 本間地区委員

●23-24 第 6 回多摩中グループ協議会

日時 5 月 25 日（木）18 時 30 分

場所 パレスホテル立川

出席 小澤崇文会長・北島清高幹事

●国立市商工会 総会

日時 5 月 23 日（火）15 時

場所 国立市商工会館

出席 寺澤会長

●国立市観光まちづくり協会 総会

日時 5 月 25 日（木）15 時

場所 商協さくらホール

出席 寺澤会長

●5 月のロータリーレートは 1 ドル 136 円です

クラブフォーラム

理事会報告

寺澤会長

●最終例会について

6 月 21 日（水）パレスホテル立川にて 18 時点鐘でございます。年度の例会最後ですので、是非多くの皆様のご出席をお願いいたします。

アトラクションには、MC のムンロ王子さんを中心に、原めぐみさん・佐伯舞さんという 3 名の方に盛り上げて予定をしています。

ご案内は後日配布させていただきます。

●今後の予定

5 月 17 日 5/15 国立白うめ RC 式典に振替

24 日 例会 卓話 菊池茂谷保天満宮権禰宜

31 日 5/28 親睦旅行に振替

6 月 7 日 クラブフォーラム

14 日 卓話 津戸弘樹会員

21 日 最終家族例会

28 日 規定休会



RI 第 2750 地区 多摩中グループ  
東京国立ロータリークラブ

会長：寺澤 武 幹事：北島正典

例 会 日：毎週水曜日

例 会 場：東京都国立市谷保 5209 谷保天満宮社務所 2 階

事 務 所：東京都国立市谷保 5234-1 電話 042-575-0770 FAX042-572-8666

E-mail : kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB http://kunitachi-rc.com/

会報委員：木島常明・秋廣道郎・喜連絃子・三田幸子

## 会員記念日紹介

### 5月のお祝い

#### 会員誕生月

青木 健会員 (2日)

三田幸子会員 (3日)

#### 夫人誕生月

山崎義晴会員夫人・季美枝様

遠藤常臣会員夫人・春実様

安中繫会員ご主人・正治様



5月誕生月の三田会員

#### ニコニコBOX

中野親睦活動委員

●寺澤会長 新型コロナの扱いが季節性インフルエンザと同じ「5類」と引き下げられました。感染対策は大きな転換点を迎えました。しかし、新型コロナは無くなった訳ではありませんので、例会場ではもうしばらく今まで通りの感染対策をお願い致します。

●北島正典幹事 青天の下、皆様いかがゴールデンウィークを過ごしたでしょうか。個人的には家の周辺にてのんびり過ごすことができ、充電できた感じです。会員の皆様の御健勝を願いニコニコします。

●山崎会員 妻の誕生日プレゼント有りがとうございます。72才です。

●遠藤常臣会員 お祝い有難うございました。

●青木会員 先般の統一地方選におきましては、会員皆様の暖かいご支援を賜り、誠に有り難うございました。おかげをもちまして9回目の当選を果たす事が出来ました事を御礼申し上げます。今後も市政発展に尽力してまいりますので、ご指導の程お願い申し上げます。

●三田会員 お誕生日の御祝ありがとうございます。

●遠藤久会員 本日は引き継ぎ会ということで、よろしく願いいたします。

\*ニコニコBOX 合計 33,000円 累計 1,283,000円

#### 出席報告

小澤谷守出席奨励委員

5月10日 在籍40名中 出席31名

28日前の出席率  $4/5=97.50 \cdot 4/12=95.00\%$

#### 閉会点鐘

寺澤会長

## 東京小金井ロータリークラブ 創立60周年記念式典

2023年5月11日(木)パレスホテル立川 330名

「60周年、新しい輪をつくる」と掲げて開催した式典だったが、60年の歴史とその重みを充分に感じさせる内容に富んだ式典だった。

国歌斉唱、ロータリーソング斉唱、物故会員への黙祷、来賓・参加クラブ紹介、会長挨拶、地区ガバナー始めお三方の祝辞と型どおり進行のあと記念事業発表。会長ご挨拶の中にあるように、60年の年月の中で一つの種が様々なところに延び、大地に根を張って豊かな実を結んできた。時計寄贈事業、野川や南相馬市、三宅島への桜寄贈事業に加え新しい事業として小学校への図書寄贈（「ロータリー文庫」として市立小学校9校に計500冊の図書を寄贈）、子ども食堂支援、新一年生への「ありがとうノート」寄贈のほかポリオ根絶チャリティ講演会（二所ノ関親方 元横綱稀勢の里）では総額80万円寄付、またポリオ根絶チャリティゴルフ大会では総額47万円余を寄付することが出来た。

ついで、姉妹クラブ・友好クラブ紹介、感謝状贈



呈、寄付金贈呈、クラブ会員表彰（30年以上など）のあと「水の輪混声合唱団」のコーラス。市立中学校卒業のメンバーの集まりから自然発生的に生まれたこの合唱団、55年の歴史を持つ。実に楽しそうに歌う様子は聴衆皆を巻き込み、60周年を地域全体で祝福して貰っている事を感じさせた。

祝宴は姉妹クラブ、友好クラブ会長祝辞、宮崎ガバナーエレクトの乾杯発声で始まり、これも地元「貫井囃子」（目黒流貫井囃子保存会）。江戸時代末期のその起源を持つとのことで、東京都の無形文化財にも指定されている。東日本地域が活躍の中心だが全国的にその場を広げており、東

京都祭り囃子コンクールでは第1回から連続15回最優秀賞を受賞しているほどの充実振りだ。

最後に披露されたのが小金井RC60周年記念カルテットによるJazz演奏。ドラム・ピアノ・ベース・サクソでドラム担当は第2750地区ガバナーエレクト宮崎陽一郎氏。かなり長時間楽しんだあとお決まりの「手に手つないで」でお開きとなった。

ロータリアンとしての矜持をしっかりと持ち、心を合わせて地域社会のために力を尽くすという協和と奉仕の精神のもと、地域とともに開かれたロータリークラブとして発展していく、と力強く印象づけた記念式典だった。



上段：貫井囃子  
中団：JAZZ演奏



左：水の輪混声合唱団

## 東京国立白うめロータリークラブ 創立30周年記念式典

「新たなる誓いを胸に刻んで！」

2023年5月15日（月）パレスホテル立川 190名

考えてみれば白うめロータリークラブが歩んできたこの30年は、戦後日本が伸びきったあとの、今まで経験したことのない閉塞感に覆われた期間であり、俗に当初「失われた10年」と言われたものが遂に「失われた30年」とまで言われる永くながく迷い続けた時代であった。反面、社会の常識が次々と覆されていく変化の激しい時代でもあった。またここに来て人類が経験したことのないようなパンデミックに襲われ、また昨年初めからは平和の常識が覆される時代となった。その中で、「ロータリーという奉仕団体が120年近く世界の第一線で活動し続けている自負」を心に刻み、新しいステージへと繋げるべく新たな決意を持って進んでいく、と力強い会長の宣言が響き渡った。

4人の方々の祝辞に続き祝電披露のあと記念事業が発表された。中でも特筆すべきは「第3回くにたち児童歌唱コンクール」開催である。第1回、第2回コンクールではかつて長期間に亘って子ども向けのNHK人気番組「おかあさんといっしょ」で「うたのお姉さん」を務めた国立出身のタレント拝田祥子（芸名「はいだしょうこ」）氏が司会役



記念講演 橋本聖子氏「スポーツによる社会開発」

を務めたが、後述する記念講演のあとのアトラクションでは、ご自身声楽家でこのコンクールの推進者でもあるご母堂拝田由美子氏の手慣れた紹介

で小学校の部、中・高校生の部、大人の部、ファミリーの部でそれぞれ披露され、参集者を大いに楽しませてくれた。白うめRCは三角屋根駅舎（旧国立駅舎）の復旧に当たっていわゆる「街角ピアノ」の市への寄贈など音楽の街国立に相応しい活動に非常に積極的だ。

記念講演は橋本聖子氏。「スポーツによる社会

開発」と題してこれからのスポーツと社会との繋がりを、夢を交えて諄々と述べられた。スポーツ界、政界での氏の最近の活躍振りは周知の通りであるが、ご自身幼い頃は非常に病弱で苦勞が絶えなかったとのこと。オリンピック夏冬併せて7回出場の実績からはとても考えられない経験を踏まえてのお話しは説得力抜群で聞き応えがあった。

\*5/17(水)の移動例会、34名の会員が参加



アトラクション：第3回くにたち児童歌唱コンクール入賞者による歌唱

右：進行役の声楽家 拝田由見子氏

- |           |          |                   |
|-----------|----------|-------------------|
| 【子どもの部】   | 嘉村咲良     | 「花らんぷ」・柴田 龍「荒城の月」 |
| 【中・高校生の部】 | 熊谷俐那     | 「ないしょぼなしのうた」      |
|           | 島田裕仁     | 「僕がうたう秋のうた」       |
|           | 植村千裕     | 「十五夜お月さん」         |
| 【大人の部】    | 植村千晶     | 「こだまでしょうか」        |
|           | 畠山ハナノ    | 「夕焼空」             |
| 【ファミリーの部】 | 長谷川ファミリー | 「パンのマーチ」          |

### 命の大切さを！～さくらの移植(二小)

国立市立国立第二小学校の校舎が建て替えられる。コロナ禍で遅れに遅れた工事もやっと始まった。この工事で桜など約100本の木が伐採される予定だった。命の大切さ、木々の命の大切さを子ども達にしっかりと考えて貰いたいと二小児童の保護者達を中心に市民が立ち上がり「～つづく つながる～くにたちみらいの杜(もり)プロジェクト」を結成、市教育委員会と一ヶ月に亘り交渉の末、4月末、「伐採せず、可能な限り緊急避難させる」事で合意に漕ぎ着けた。

昨秋芸小ホールで上映されたドキュメンタリー映画「杜人」で紹介された造園技師・環境再生医の矢野智徳氏(山梨県)を始め、趣旨に賛

同して北は北海道、南は関西地区まで全国から集まった職人約50人、「大地の再生」のメンバーやボランティア市民併せて70人が5月3日～6日の間に40数本を学校敷地東側に仮移植した。今回の費用はプロジェクトが負担することになっているが900万円を目標にクラウドファンディングを立ちあげた(当座目標500万円)、とのこと。 クレーン吊し・菰巻き

